

自治体名：今治市

平成 30 年度活用メニュー及び新規提案

(活用メニュー)

—

(新規提案)

—

平成 30 年度 活用メニュー数：0 件、認定事業数：0 件

平成 29 年度 活用メニュー数：0 件、認定事業数：0 件

自己評価

【評価できる点】

- ・ 「道の駅」の設置者の民間拡大事業や、獣医師の養成に係る大学設置事業など、全国初の事業を行った。
- ・ 「道の駅」の設置者の民間拡大事業については、H30 年度は西日本豪雨の影響もあり利用者見込数及び売上見込は減少する見込ではあるが、H29 年度実績では、利用者数実績前年比 7.8%増、売上実績前年比 2.7%増となった。
- ・ 獣医師の養成に係る大学設置事業については、H30 年度志願者数 2,303 人、志願倍率 16.45 倍（志願者数 2,303 人÷定員数 140 人）、入学者数 186 人（看護学科 39 人含）、H31 年度志願者数 2,010 人、志願倍率 14.36 倍（志願者数 2,010 人÷定員数 140 人）、入学者数 215 人（看護学科 43 人含）となった。

【課題】

- ・ 規制緩和メニュー及び他区域の取組状況を組織内で共有し、産業界等にもヒアリングを行うなど、新規事業や新たな提案の発掘に努めているが、具体的なニーズの掘り起こしまで至っておらず、平成 29 年度、平成 30 年度において新規提案及び既存メニューの活用がなかった。

今後の取組方針（活用したいメニューや注力したい分野、検討中の新規提案 等）

【既存メニューの活用】

○国家戦略特別区域創業者人材確保支援事業

- ・（一社）しまなみジャパン（DMO）設立を契機に国家戦略特区で取組む創業支援策

である外国人創業支援、NPOの設立の迅速化、道の駅の民間拡大などのメニューとあわせて、スタートアップ企業への支援を行うものであり、各種施策を一体として取組むことにより、しまなみ海道を軸に、国際交流拠点として活性化を期待するもの

* 今後も（一社）しまなみジャパン（DMO）等と連携し、しまなみ海道を軸とした国際交流拠点となるようなメニューの活用のできる事業者への積極的なアピールに努めたい

【サンドボックス関連】

○有害鳥獣活動領域監視の実証実験

・夜間、目視外における飛行を実施し、有害鳥獣の昼夜を通じての活動領域を把握することで効果的に罠等を設置し、有害鳥獣対策の効率化を図るもの。また、2019.2.7にKDDIと本市とで5Gを活用した地方創生の包括協定を締結したことから、5Gを活用した実証実験もあわせて行いたい。

【その他】

○外国人材について

※1 複数ページに渡っても構いません。

※2 必要に応じて参考資料を添付してください。